



新潟市立西特別支援学校

令和8年度 学校だより 4月号

令和8年度のスタートにあたって

～末広がり「八（8）」に願いを込めて～

校長 関原 一成

春の花が咲き誇り、柔らかな日射しが新入生と進級した子どもたちを温かく包み込んでいます。いよいよ令和8年度が始まりました。

さて、本年度は「令和八年」という、「八」の数字を冠する年度です。古来より日本では、「八」という字は下の方が広がっている形から「末広がり」と呼ばれ、未来に向けて道が開けていく、大変縁起の良い数字とされてきました。今年度は、令和八年度にちなみ、「末広がり」に二つの願いを込めて学校運営に取り組んでいきたいと考えます。

1 可能性の広がり

子どもたちは、無限の可能性を秘めています。子どもたち一人一人が、自分の得意なことや好きなことを見付け、どこまでも広げてほしいと願っています。そのために、子どもの実態を丁寧に把握し、職員間で情報共有します。

2 笑顔と絆の広がり

学校生活の中で、友達との絆を深め、互いに認め合い、学校全体に温かな笑顔の輪が広がっていくことを願っています。そのために、友達と関わったり協力したりする場面を意図的に設け、コミュニケーションや役割遂行の機会を増やしていきます。



今年度一年間、「自分の中で伸びる みんなの中で伸びる 地域の中で伸びる」という学校教育目標の下、西特別支援学校の教職員一同力を合わせ、児童生徒が様々な活動を通して成功体験や成就感をたくさん得られるような教育を行い、自己肯定感や自信を育てていきます。そして、児童生徒一人一人が、社会参加と自己実現に向けて、自らの力で一歩前に踏み出せるよう、全力で取り組んでまいります。

保護者の皆様のご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。